

読んだ本 (加古里子／文・絵常嘉煌／絵) 福音館書店

「万里の長城」

菊池市立泗水小学校四年 本郷ほんごう耀大ようた

ぼくが、みなさんにおすすめた本は、「万里の長城」という、中国のれきしについての本です。この本のみ力は、三つあります。一つ目は、中国のれきしだけでなく人類の祖先や生物の進化について学ぶことができることです。人類の祖先が、およそ二百万年前にたん生したことを知ってそんな昔に人類が生まれたんだとびっくりしました。昔の地球の大陸が今の地図とは、かなりちがうことも分かりました。初めて知ることがたくさんあって、とてもおもしろい本です。二つ目は、中国の長いれきしをわかりやすく学ぶことができることです。何で戦いが起こったのか、その理由を知ることができます。その時に、どんな部族がいて、どんな暮らしをしていたかもわかります。ぼくは、特に中国が超大陸国家になったモンゴル帝国のときのれきしが一番おもしろいと思いました。三つ目は、本のページをめくると、ときどきクイズが出てくるところがおもしろいです。れきしが好きな人だけでなく、クイズが好きなの人も楽しむことができます。ぜひ、たくさんの人に読んでもらい、中国のれきしのおもしろさについてみんなで話し合いたいです。